

# ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H. 2 7 . 1 2 . 2 9

No. 2 6

## ピラミッドマラソン (持久走大会)

カイロに来てまだ1年たっていませんが、気候のことをお伝えいたします。**カイロは、年間降水量が約30mm**で、気候帯は**乾燥帯**に属しています。乾燥帯とはいえ、四季はあります。**春は3～4月、夏は5～10月、秋は11～12月中旬、冬は12月中旬～2月**といったところです。**夏が1年の半分**です。**夏の最高気温は、連日35℃を超え**湿度が低いので、日差しは本当に強くてじりじりと肌が焼けるようです。反面、低湿度のため日陰に入ると涼しさを感じます。**冬でも最高気温は20℃近く**になり、日中はポカポカと温かいです。冬は、関東地方のそれに似ていると思います。**最低気温は10度弱**くらいです。**朝や夜は暖房が必要**です。それから、冬のカイロの朝は、**濃い霧が発生**します。20m先が見えないくらいの濃霧の日もあり、車の運転は気を付けなければなりません(私は運転をしません。プライベートドライバーさんがします)。

日本と違う点は、**季節の変わり目がはっきりしている**ことがあげられます。今年は、10月24日までは最高気温が30℃を超えていたのですが、翌25日からは最高気温が27度前後になり、スイッチを切り替えたように急に涼しくなりました。日本の三寒四温などというように、寒暖を繰り返して徐々に変化するというのではないようです。四季があるとはいえ、気温以外で四季を感じることは難しいです。天気は基本的に一年中晴れですし、樹木も落葉しないのでほとんど変わりません。カイロに住んでいると、**日本の四季の豊かさ、色彩の豊かさ**を感じます。そういう意味で、**日本は本当に自然豊かな美しい国**だと思います。

さて、多少寒さを感じる12月11日に、カイロ日本人学校の行事である「**ピラミッドマラソン**」が行われました。会場となるマラソンコースは、**ギザの三大ピラミッド**のすぐそばの産業道路というところで、一般には解放されていない道路を貸し切って行いました。したがって、普段見ることができない角度から三大ピラミッドを見ることができます。子どもたちは、1～4kmまでのコースを自分で選んで走ります。下の写真のように、ピラミッドを見ながら走ります。道路は舗装されていて、多少起伏がありますが、ほぼ平坦な道路を走ります。私は、折り返し地点で写真撮影の仕事をしていて走っていませんが、このコースなら走ってみたいなあと思いました。

マラソン大会を実施するにあたって、ピラミッド内を管轄する観光警察の方が警備をしてくださいます。**銃を携行した警官**が、スタート地点や給水ポイント、折り返し地点などに配備してくださいます。最近では、警官の銃をみてもドキドキしなくなり、すっかり慣れてしまいました。日本とは違い、危険と隣り合わせだということを忘れてはいけないと改めて思いました。

